

ホームページへの掲載		
済	8月6日	掲載

岐阜県立各務原高等学校

学校長 居波 裕
学校住所 各務原市蘇原新生町2-63 電話 058-383-1015

- 1 会議の名称 岐阜県立各務原高等学校評議員会（第1回）
- 2 会議の構成
- | | | |
|------------|-------|-----------------------|
| 委員 | 小林 孝年 | 地域住民代表（自治会長） |
| | 鈴木 英己 | 関係機関等代表（各務原市立中央中学校長） |
| | 園部 泰敏 | 企業関係者（(株)三敬代表取締役社長） |
| | 福田 尚巳 | 地域住民代表（各務原市役所いきいき楽習課） |
| | 堀 善子 | 地域住民代表（ふるさと教育アドバイザー） |
| （委員名は五十音順） | | |
| 学校側 | 居波 裕 | 校長 |
| | 林 昭男 | 教頭 |
| | 田中 誠二 | 教頭 |
| | 中村 敏徳 | 事務長 |
| | 関谷十糸子 | 教務主任 |
| | 松久 潤 | 生徒指導主事 |
| | 原 裕子 | 進路指導主事 |
| | 梅野 剛 | 特別活動部長 |
| | 片桐 豊 | 渉外部長 |
- 3 会議の目的 岐阜県立各務原高等学校評議員会設置要綱に基づき、本校の教育方針と学校課題を説明し、本校の教育への提言を受ける。
- 4 会議の開催 令和2年6月29日(月)～7月17日(金)
書面開催
- 5 会議の概要
- 本校の教育指導の重点及び学校経営計画（高等学校版マニフェスト）の提示
 - 各分掌からの方針と重点、具体的な取り組みや課題についての資料を提示。
 - 教務部
 - 生徒指導部
 - 進路指導部
 - 特別活動部
 - 保健厚生部
 - 図書・情報部
 - 教育相談部
 - 渉外部
 - 地域課題探究学習についての資料を提示
 - その他

(1) 本校の教育指導の重点及び学校経営計画（高等学校版マニフェスト）について

- 意見 1 目標（重点）に対して具体的方途が示されていて、分かりやすい。それぞれの具体的方途について1年のまとめ（アンケート・評価）をしていただけると、成果がはっきりすると思う。
- 意見 2 重点及び計画について賛同する。理数科・英語科がなくなり、特色ある学校へ生まれ変わるチャンスととらえてほしい。

意見 3 今まで経験したことのない時代に立ち向かう生徒たちも大変だが、生徒たちに寄り添う先生方のモチベーションも本当に大切な時代に突入した気がする。笑顔の多い学校生活を願いたい。

意見 4 コロナによって、世の中（社会）のすべてが変化しつつある。こうした社会に今までの常識が通用するかといったことを学校でも考え、ダーウィンの進化論的な勉強をマニフェストに加えてはどうか。

(2) 各分掌の方針と重点、現状と課題について

意見 1 細部まで計画されていてよい。分掌ごとに現状と課題が示されているが、課題に対する取組がどれかを分かるようにすると、つながりが分かりやすい。

意見 2 (教務部)
・コロナ禍により、県がタブレット配付などオンラインの授業もできるような環境を整えているので、先生方も十分活用していただけると、生徒の家庭学習時間が延びるのではないかと思う。
・「生きる力」が本当に大切な社会になってきたと感じる。心とからだのバランスを見守ってほしい。
・今だから学べる命の大切さを重点に入れてほしい。

意見 3 (生徒指導部)
・校外での生徒の様子を見ると、身だしなみなどしっかりしていると思う。
・命を守ってほしい。与えられるルールやマナーではなく、皆でルールを考える工程も意味があるのではと思う。
・コロナ対策と学習のために、スマートフォンの使い方を考える必要がある。
・交通安全協会で立哨をしているが、朝大きな声で「おはようございます」と挨拶をしてくれて、とてもうれしく思う。自転車の運転もおとなしく、礼儀正しく、ほほえましく思っている。

意見 4 (進路指導部)
・国公立大学への進学者が少ないかなと感じる。最近はAO入試もあるので、高校時代において積極的に自分をアピールできるような活動への参加を促すことが必要だと思う。
・学力だけでなく、社会対応力も大切だと思う。生徒と同じ目線での指導を願いたい。
・卒業生の話を聞くことができる機会を設けるとよいと思う。

意見 5 (特別活動部)
・多くの部活動の生徒が学校を飛び出し、地域事業や行政事業に参加しているように思う。今年度は新型コロナの影響を受け活動の制限はあるが、ピンチをチャンスに変えて何か新しい活動が見つかると思う。
・部活動にもう少し力を入れて、入学希望者が増えると思う。

意見 6 (保健厚生部)
・夏季休業の短縮に伴い、弁当の保管について注意していくとよいと思う。
・コロナウイルス感染症防止対策をよろしく願いたい。

意見 7 (図書・情報部)
・芸術鑑賞や図書活動はとても大切である。オンラインを活用して教室内鑑賞や朗読などができるとよい。こういう時期だからこそ、市内の高校が連携して文化芸術活動を実施するのはどうか。

意見 8 (教育相談部)
・相談しやすい環境づくりが大切である。

意見 9 (渉外部)

- ・インターネットを活用したアンケートの実施は素晴らしい。これからはインターネットを活用してさらに発信できるとよいと思う。
- ・PTAの役員決めがいつも大変なので、中学校のPTAと連携するなど、何か取り組みがあるとよい。

(3) 地域課題探究学習について

意見 1 早ければ2022年に地域探究学科が誕生すると聞いた。本校は、昨年度から「ふるさと教育」を始め、いち早く取り組んでいると思う。コロナの問題もあり、活動には制限があると思うが、どうか継続し、本校の特色としてもらいたい。

意見 2 コロナ禍により当初の計画通りとはいかなくなっていると思うが、他市では高校生が地域の人とオンライン会議を行うなどして、地域をよくするプロジェクトを自分たちで考えて、挑戦している高校がある。先生の手を離れて、地域の人と対等に話せる高校生になれば、大学からも引く手あまたになるのではないかと思う。

- 6 会議のまとめ
- ・評議員の皆様から、貴重なご意見やご提言をいただいた。これからの学校運営に活かしていきたい。
 - ・第2回学校評議員会は、令和3年の1月～2月の時期に実施する予定である。